巻頭特集

全国有数の健康・長寿施設が集積する

「ウェルネスバレー」

幸せに歳を重ねられる幸齢（こうれい）社会を目指して

大府市、東浦町には、健康・長寿に関する研究機関などが半径2㎞圏内に集まるウェルネスバレー地区があります。各機関が連携し、研究・予防に取り組むことで大府、東浦から幸齢社会を目指します。

多彩な施設の連携で課題解決につなげる

人生100年時代といわれる現代、健康寿命の延伸は社会課題のひとつです。大府市と東浦町は高齢者だけでなく、全世代の健康づくりに共に取り組んできました。

大府市は昭和62年に「健康づくり都市」を宣言。あいち健康の森公園の開園、あいち小児保健医療総合センター、国立長寿医療研究センターの開設を経て、平成20年度に健康・長寿に関する研究機関や施設が点在した「あいち健康の森とその周辺地区」を「ウェルネスバレー」と名付けました。半径約2㎞圏内に病院や介護施設、都市公園、研究・研修センターなどの施設が集まる地区は全国でも稀です。

「産学官が力を合わせて人や機関を呼び込んでいきたい。そのため、ウェルネスバレーの魅力を全国に発信していきたい」とウェルネスバレー推進室・戸田稔彦室長は狙いを語ります。

ただ施設が集積しているだけではなく、各施設を横軸で連携するウェルネスバレー推進協議会が大きな役割を果たしています。推進協議会は平成23年に発足。医療、介護現場で課題やニーズを吸い上げ、企業が試作品を考案。各施設で検証し課題解決を目指しています。

強みをいかした企業支援と気軽に参加できる健康事業

平成28年度にできた「ウェルネスバレーブランド認定制度事業」にも力を入れます。目的は健康長寿関連の商品やサービスの普及。ブランド認定することで商品力を付けられるよう、開発・販売を手がける企業に手厚い支援をしています。商品化の一例に、大府市役所1階にも設置されている「とろみ付き飲料」を選べる自動販売機があります。「とろみ自動調理器」「とろみ自動調理サーバー」の名でブランド認定された株式会社アペックスの製品です。介護施設職員の「利用者に提供する飲料に、誤嚥防止のため個人に合わせてとろみをつける作業に時間がかかる」という悩みをヒントに商品化されました。企業は試作品をウェルネスバレー地区の介護施設で検証し、改良を重ねられます。市役所は高齢者と孫世代が一緒に自動販売機で飲み物を買えるように設置を決めました。

市民、町民も気軽に参加できるのが、認知症予防に効果的なウェルネスバレーロード設置事業です。歩きながらまちの魅力が感じられるウオーキングコースを設定。大府駅からあいち健康の森を歩きます。尾張森岡駅までの4・5㎞コースは適度な勾配があるため、軽い負荷をかけウオーキングできます。例年春秋には、ウェルネスバレーの関係機関をめぐるスタンプラリー事業も実施しています。

企業誘致にも積極的

健康・長寿のまちへ

子育て世代から高齢者まで、生き生きと暮らせるのが大府市の魅力です。平成27年に8万9423人だった人口が令和2年には9万2670人に（※）増加。今後も人口増が見込まれ、10万人都市も目前に迫ります。

健康長寿に関する取り組みへの期待を受け、推進協議会は事業の柱に立地支援を掲げます。関連事業所をウェルネスバレー地区に誘致。地区は健康産業、医療福祉、健康交流の3エリアに分かれ、研究所だけでなく工場や市民農園など、土地を活用したビジネスを展開予定です。

推進室が置かれる大府市役所では、職員が毎朝、始業前にラジオ体操しています。健康・長寿を住民にPRするだけでなく、行政が率先し行動することでまち全体の健康意識を高めています。

※大府市住民基本台帳（外国人含む）より

大府市 産業振興部
ウェルネスバレー推進室 室長
戸田稔彦さん

ウェルネスバレーってなに？

「ウェスネス」とは、輝くように生き生きした様子を意味します。クオリティオブライフ（QOL）、生活や人生の質の向上に注目し、体と心の健康を保ち、社会とのつながりや生きがいを感じながら生活することを指します。「ウェルネス」の概念をさまざまな角度からサポート、提案する施設の集まる地域を、アメリカシリコンバレーになぞり命名しました。

F

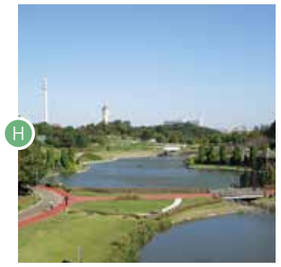
憩の里 ワーキングスペースおおぶ

障がい者が一般就職するための訓練施設です。多様な作業プログラムを提供し、利用者を支えます

G

あいち健康の森 薬草園

四季折々の花や実をつける150種類以上の薬用植物を展示しています。薬草の効能で心と体を健康に保ちます



H

あいち健康の森公園

芝生広場や大型遊具、健康器具やジョギングコースが整備された公園。多世代が楽しみながら健康になれる工夫があります

I

フラワーサーチ大府

医療介入を必要とする人が安心して暮らせる介護付有料老人ホーム。介護士、看護師が24時間常駐しています

ウェルネスバレーエリアマップ

J

大府病院

精神科・老年精神科病院。近年は国立長寿医療研究センターの協力病院として、認知症治療にも力を入れています

K

ルミナス大府

入院治療の必要はないものの、日常生活に不安がある人を対象に介護・リハビリを通じ在宅復帰を支援。在宅で生活している人の通所リハビリも行います

さわやかの丘

65歳以上が対象の住宅型有料老人ホームです。生きがいづくりを応援するイベントも多数企画しています

M

げんきの郷

「農と食・健康」がテーマの複合施設。ウェルネスバレー関連施設と共同開発した「骨育弁当」の販売も手掛けています

N

L

ウッド・ビレッジ

木造住宅を造る建築会社と工務店が集結した、木の家のモデル住宅です。「見て、聞いて、触れて、体感できる」がコンセプトの体験型住宅展示場です

全国でも数少ない施設が集結

国で3つ

認知症介護研究・研修大府センター

認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成する施設です。認知症の発症や進行を遅らせる研究を進めています

国で6つ

国立長寿医療研究センター

全国に6機関設置される国立高度専門医療研究センターの一つ。研究所と病院の中核的機関で、老化や老年病の最先端研究をしています

県で1つ

あいち小児保健医療総合センター

愛知県で唯一の子どものための保健医療施設。平成28年11月に周産期部門を新設し、心疾患や外科疾患がある胎児・新生児への早期治療ができます

県で1つ

あいち健康の森健康科学総合センター
（あいち健康プラザ）

県民の健康づくりを推進する拠点施設です。通所だけでなく宿泊もでき、専門家が健康づくりプログラムを提案する体験型の施設です

ウェルネスバレーに関する問い合わせ先

ウェルネスバレー推進協議会 事務局

▶大府市ウェルネスバレー推進室
［電話番号］0562-45-6255

▶東浦町企画政策課
［電話番号］0562-83-3111【代】

詳しくはwebをチェック

文／南部武寛　写真／大府市役所ウェルネスバレー推進室提供・横井淑乃　デザイン／chica